

標 題 : Bioavailability and antioxidant effects of olive oil  
phenolic compounds in humans : a review  
ヒトにおけるオリーブ油フェノール化合物の生体利用効率および  
抗酸化の影響 : 総説

---

著 者 : M. Fitó, et al. (スペイン Institut Municipal d'Investigacio Medica (IMIM)  
脂質・心臓血管系疫学研究ユニット)

---

掲 載 誌 : Ann. Ist. Super Sanita 43(4): 375-381 (2007)

---

要 旨 :

地中海食事の主な油脂源であるオリーブ油は機能性食品で、高い値の1価不飽和脂肪酸含量を有する外に、生物学的特性のある複数の微量成分を含有する。

抗酸化性フェノール化合物などのオリーブ油の微量成分に関して、大規模な研究が主に実験または動物モデルで実施されてきた。

集団レベルで推奨を与えるためには、オリーブのフェノール化合物が健康上の利点に大いに寄与するとの、証拠を提示するヒトにおけるランダム、対照比較、臨床試験が必要である。

ここで、ヒトにおけるオリーブ油フェノール化合物の生体利用効率および抗酸化の効能を、最先端の知識体系を我々は証拠を得るまで要約する。

キーワード : オリーブ油、フェノール、生体利用効率、ヒドロキシチロソール、チロソール

---